

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第39週 >

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-9

< RSウイルス感染症 >

第39週は1,781例と前週よりも増加し、2004年以降の同時期の報告数としてはこれまでで最も多い状態が第16週以降継続している



病原体情報
P.10-11

感染性胃腸炎関連ウイルス 2010/11 & 2011/12シーズン



速報
P.12-13

2011/12シーズンにおけるインフルエンザ集団発生初発事例 - 山口県



海外感染症情報
P.14-17

インフルエンザ



感染症の話
P.18

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(39週)
P.19-24



39週のデータ
P.25-37



発生動向総覧

< 第39週コメント > 10月5日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核392例

3類感染症

細菌性赤痢7例

菌種: *S. flexneri*(B群)1例__感染地域: 台湾/インドネシア
S. sonnei(D群)6例__感染地域: 福島県1例、大阪府1例、
 国内(都道府県不明)1例、インド2例、カンボジア1例

腸管出血性大腸菌感染症61例(有症者51例、うちHUS 2例)

感染地域: 国内61例

国内の感染地域: 東京都6例、北海道5例、山形県5例、福岡県5例、福島県3例、岐阜県3例、長野県2例、静岡県2例、奈良県2例、鹿児島県2例、宮城県1例、秋田県1例、栃木県1例、群馬県1例、神奈川県1例、兵庫県1例、広島県1例、山口県1例、熊本県1例、大分県1例、宮崎県1例、沖縄県1例、不明14例

年齢群: 1歳(3例)、2歳(3例)、3歳(1例)、4歳(1例)、5歳(1例)、7歳(3例)、9歳(2例)、10代(11例)、20代(11例)、30代(3例)、40代(4例)、50代(5例)、60代(8例)、70代(3例)、80代(2例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(18例)、O157 VT2(14例)、O26 VT1(12例)、O111 VT1(3例)、O157 VT不
 明(3例)、O103 VT1(2例)、O111 VT1・VT2(2例)、O74 VT2(1例)、O91 VT1(1例)、O145 VT1・VT2(1例)、O145 VT不明(1例)、O157 VT1(1例)、その他・不明(2例)

累積報告数: 3,212例(有症者2,235例、うちHUS 89例、死亡13例)

腸チフス2例

感染地域: 国内(都道府県不明)1例、インド1例

4類感染症

E型肝炎1例

感染地域: 東京都__感染源: 不明

A型肝炎1例

感染地域: 鹿児島県

チクングニア熱1例

感染地域: インド

つつが虫病3例

感染地域: 新潟県1例、福井県1例、島根県1例

デング熱6例 感染地域: カンボジア2例、インド2例、モルディブ1例、ベトナム/ラオス1例
 日本紅斑熱5例 感染地域: 広島県2例、和歌山県1例、徳島県1例、鹿児島県1例
 日本脳炎1例 感染地域: 福岡県__年齢群: 60代
 マラリア5例 熱帯熱4例__感染地域: パキスタン3例、ブルキナファソ1例
 三日熱1例__感染地域: インド

レジオネラ症15例(肺炎型14例、ポンティアック型1例)
 感染地域: 埼玉県2例、長野県2例、栃木県1例、東京都1例、山梨県1例、岐阜県1例、静岡県1例、愛知県1例、兵庫県1例、広島県1例、国内(都道府県不明)2例(うち1例温泉) 中国1例
 年齢群: 50代(1例)、60代(8例)、70代(2例)、80代(4例)

レプトスピラ症1例 感染地域: 沖縄県__感染原因: ダム

5類感染症

アメーバ赤痢13例(腸管アメーバ症10例、腸管外アメーバ症1例、腸管及び腸管外アメーバ症2例)

感染地域: 東京都2例、群馬県1例、千葉県1例、神奈川県1例、大阪府1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)1例、台湾1例、タイ1例、インドネシア1例、台湾/インドネシア1例、タイ/カンボジア1例

感染経路: 経口感染6例、性的接触4例(異性間3例、同性間1例)、不明3例

ウイルス性肝炎5例 B型4例__感染経路: 性的接触4例(異性間3例、異性間・同性間不明1例)

C型1例__感染経路: 性的接触(異性間)

急性脳炎1例 病原体不明__年齢群: 0歳

クロイツフェルト・ヤコブ病2例

孤発性プリオン病古典型2例

後天性免疫不全症候群15例(AIDS 4例、無症候10例、その他1例)

感染地域: 国内10例、米国1例、ケニア1例、中央アフリカ1例、国内・国外不明2例

感染経路: 性的接触13例(異性間3例、同性間9例、異性/同性間1例)、その他・不明2例

梅毒12例(早期顕症I期4例、早期顕症II期1例、晩期顕症1例、無症候6例)

破傷風1例 年齢群: 80代

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: *Van C*__菌検出検体: 腹水

風しん3例(検査診断例2例、臨床診断例1例)

感染地域: 東京都1例、神奈川県1例、福岡県1例

年齢群: 1歳(1例)、35~39歳(1例)、40代(1例)

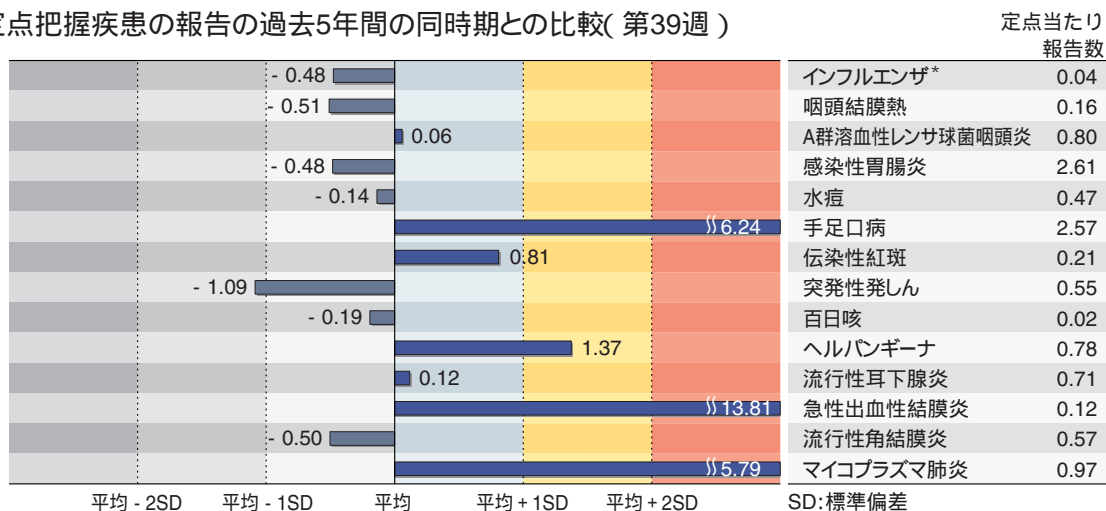
累積報告数: 323例(検査診断例250例、臨床診断例73例)

(補) 2011年第38週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例〔菌種 : *S. sonnei* (D群) __ 感染地域 : ウズベキスタン)、E型肝炎1例(感染地域 : 不明 __ 感染源 : レバー)、デング熱2例(感染地域 : バングラデシュ1例、インド1例)、日本紅斑熱3例(感染地域 : 和歌山県1例、愛媛県1例、鹿児島県1例)、レプトスピラ症1例(感染地域 : 愛媛県 __ 感染原因 : 河川)、急性脳炎2例〔単純ヘルペスウイルス1例(50代)、病原体不明1例(4歳)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(70代 . 死亡)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第39週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第35週以降増加が続いている。都道府県別では沖縄県(0.83)、山口県(0.67)、愛媛県(0.16)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,781例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いている。都道府県別では愛媛県(0.54)、福岡県(0.53)、奈良県(0.49)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(2.09)、石川県(1.38)、大分県(1.36)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(5.14)、福井県(4.73)、宮崎県(4.56)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(0.95)、大分県(0.86)、鳥取県(0.79)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では宮城県(9.9)、秋田県(5.2)、岩手県(5.1)、青森県(4.7)、福島県(4.7)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では島根県(0.65)、徳島県(0.57)、高知県(0.53)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では群馬県(0.10)、千葉県(0.10)、広島県(0.10)が多い。

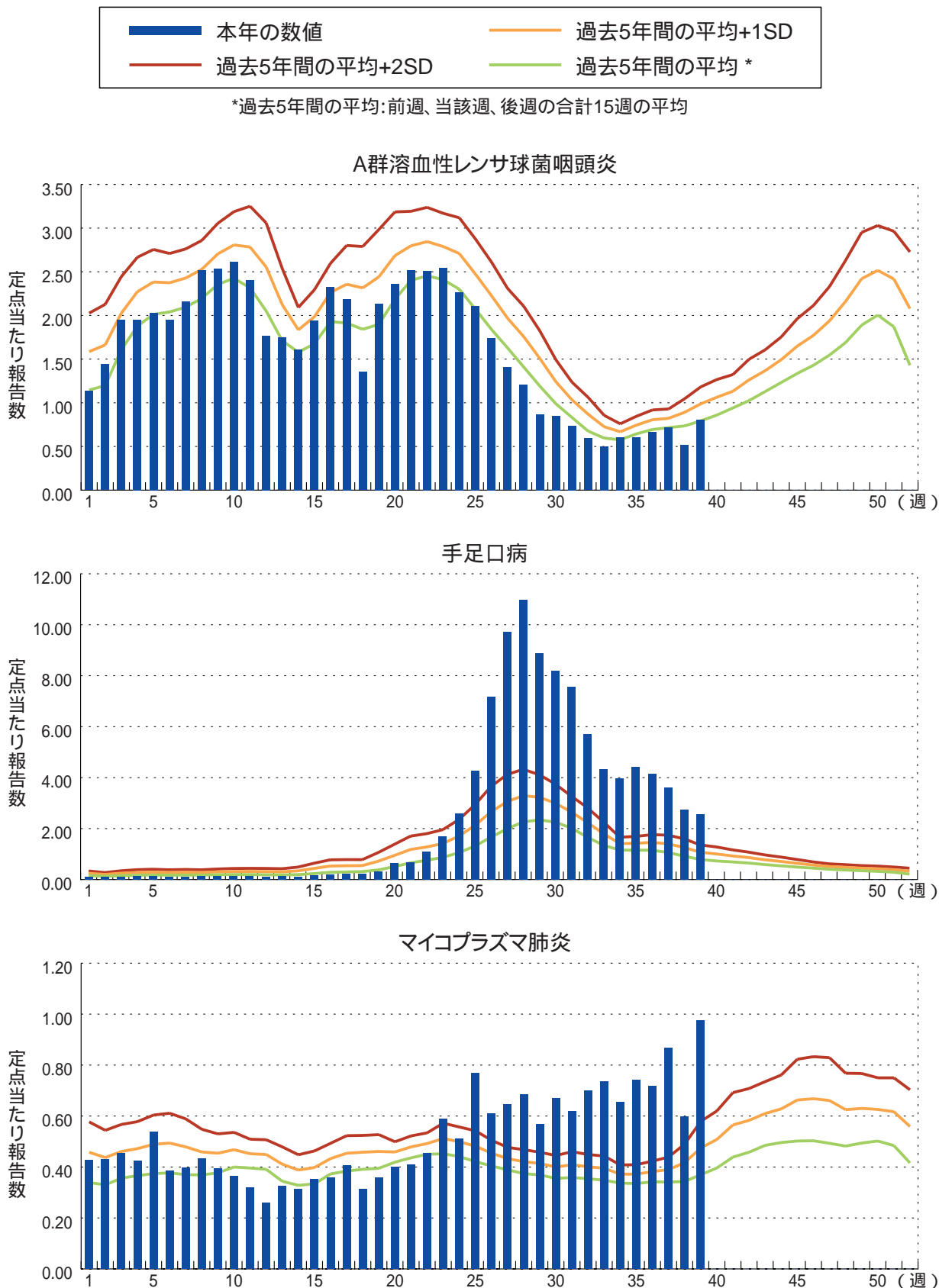
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では山形県(4.50)、愛媛県(1.97)、福島県(1.63)、富山県(1.41)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では愛媛県(2.32)、宮崎県(2.25)、新潟県(2.17)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県(3.22)、大阪府(2.67)、愛知県(2.62)、沖縄県(2.57)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第39週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症(respiratory syncytial virus infection)は、病原体であるRSウイルスが伝播することによって発生する呼吸器感染症である。年齢を問わず、生涯にわたり顕性感染を繰り返す。生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスの初感染を受けるとされているが、乳幼児期においては非常に重要な疾患であり、特に生後数週間～数カ月間の時期においては母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こす。

潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日とされているが、発熱、鼻汁などの上気道炎症状が数日続き、その後下気道症状が出現してくる。咳嗽、鼻汁などの上気道症状が2～3日続いた後、感染が下気道、とくに細気管支に及んだ場合には特徴的な病型である細気管支炎となる。炎症性浮腫と分泌物、脱落上皮により細気管支が狭くなるに従い、呼気性喘鳴、多呼吸、陥没呼吸などを呈する。心肺に基礎疾患を有する児においては、しばしば遷延化、重症化する。喀痰の貯留により無気肺をおこしやすい。発熱は初期症状として普通に見られるが、入院時には38以下になるか、消失していることが多い。RSウイルス感染症は、乳幼児の肺炎の原因の約50%、細気管支炎の50～90%を占めるとの報告もある。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、臨床上、公衆衛生上のインパクトは大きい。合併症として注意すべきものには無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳症等がある(IASR 2008年10月号 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/344/tpc344-j.html> 参照)。

RSウイルスの主な感染経路は飛沫感染と接触感染であるが、感染力が強く、また再感染例等で典型的な症状を呈さずにRSウイルス感染と気付かれない軽症例も存在することから、家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行を効果的に抑制することは困難であるといわれている。

RSウイルス感染症の発生動向については、感染症法改正(2003年11月5日施行)により対象疾患となり、全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。診断は臨床症状のみでは不可能であることから、届出基準としてウイルスの分離・同定、迅速診断キットによる抗原検出、血清抗体検出(中和反応または補体結合反応)による病原検査が必須とされている。しかし、臨床現場で最も簡便な迅速診断キット検査については、医療保険適用として入院例のみが対象であり、小児科定点医療機関の70%以上を占める病院以外の一般医療機関では診断に至らずに報告されていない症例が少なくないと推察される。従って、発生動向調査によるRSウイルス感染症の報告数は、国内の現状を正確に反映しているとは必ずしも言えない面もあるが、ここ数年その報告数は増加傾向にあり、また最近では外来診療の際にもRSウイルスの迅速抗原検査を実施する小児科医が多くなってきているとの指摘もある。

RSウイルス感染症の小児科定点医療機関からの報告数は、例年冬期にピークが見られ、夏期は報告数が少ない状態が継続しているが、2011年は、祝日を含んだ第29週および第38週を除き、第25週から増加が続いている。第39週は1,781例と前週(第38週)の報告数1,336例よりも大きく増加した。2004年以降の同時期の報告数としてはこれまでで最も多い状態が第16週以降継続している(図1)。都道府県別の報告数をみると、東京都(173)、大阪府(168)、宮崎県(105)、愛知県(87)、香川県(67)、福岡県(62)、神奈川県(61)の順となっており、36都道府県で前週の報告数よりも増加がみられている(図2)。

図1. RSウイルス感染症の年別・週別発生状況(2003年第45週 ~ 2011年第39週)

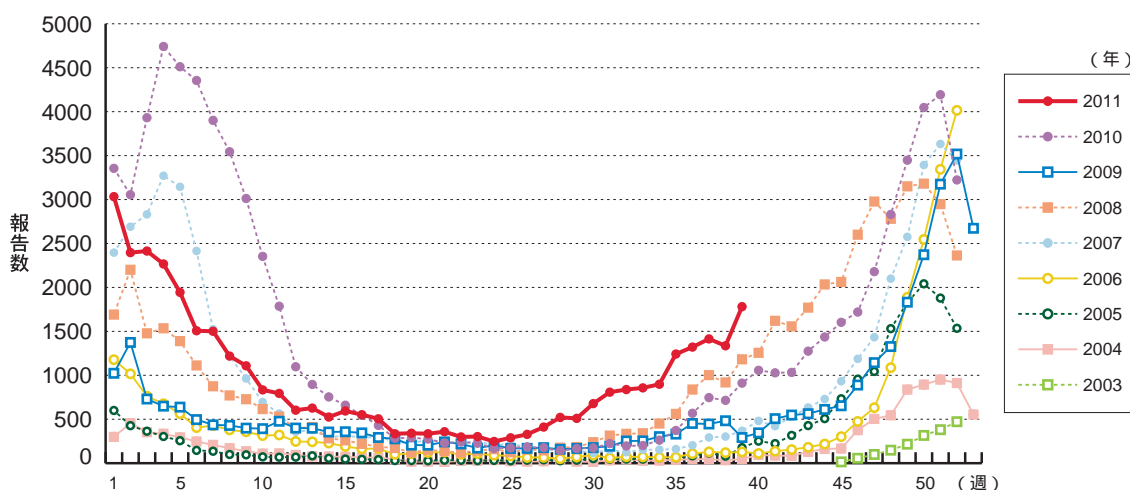
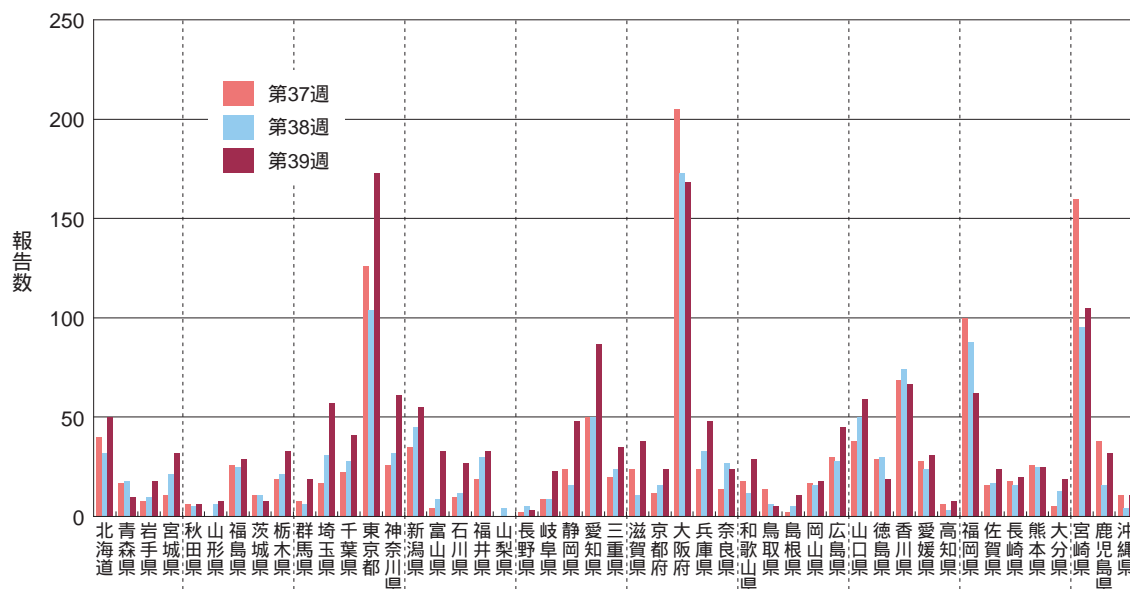
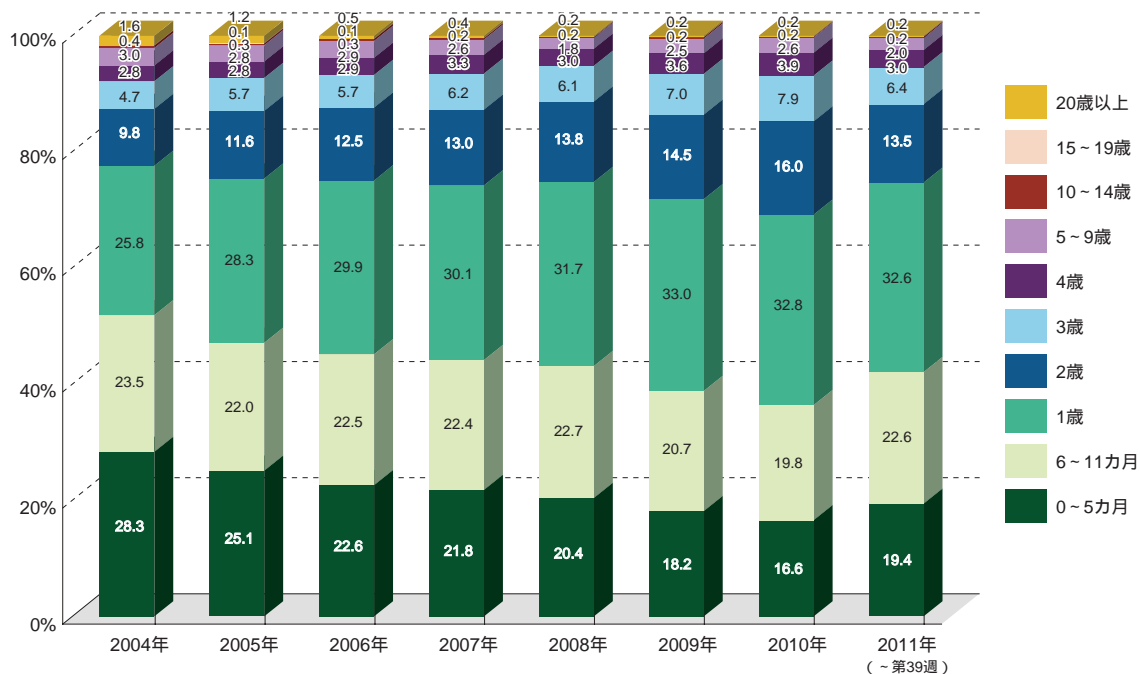


図2. RSウイルス感染症の都道府県別報告数の推移(2011年第37 ~ 39週)



2011年第1～39週の累積報告数(38,041)の年齢群別割合をみると、0歳児42.1%(0～5カ月19.4%、6～11カ月22.6%)、1歳児32.6%、2歳児13.5%、3歳児6.4%、4歳児3.0%の順であり、1歳以下で全報告数の約70%以上を、3歳以下で全報告数の90%以上を占めているのは、2004年以降変わっていない(図3)。

図3. RSウイルス感染症の年別・年齢群別割合(2004年～2011年第39週)



RSウイルス感染症は冬季に最も流行する感染症であり、例年12月か又は翌年の1月にそのピークを迎えている。第39週の報告数は、例年であれば11月に相当する流行水準であり、今後冬期に向けて更に報告数が増加してくるものと予想される。RSウイルス感染症は、その重篤性や合併症から特に乳幼児において臨床的および公衆衛生的に極めて重要な感染症であり、今後の同疾患の報告数の推移についてはより一層の注意が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

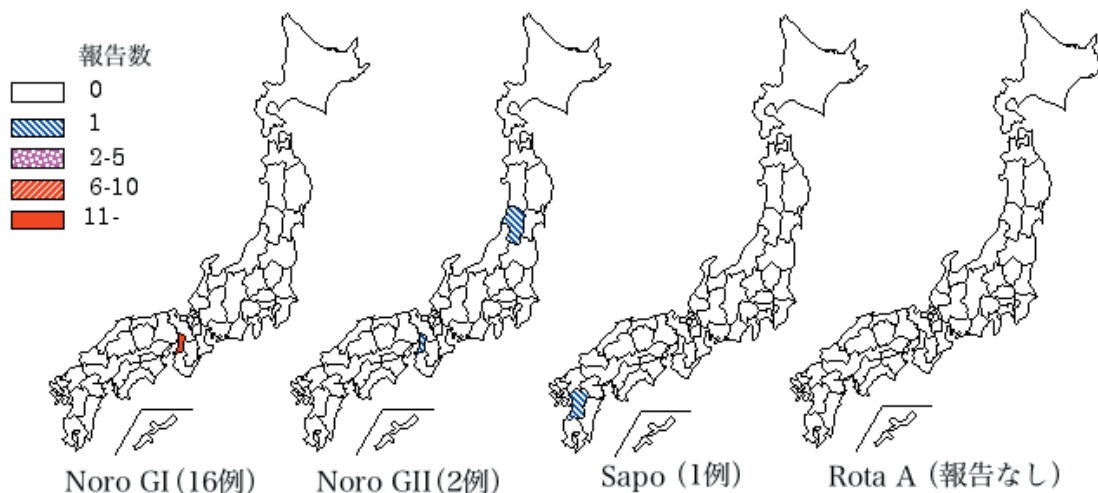
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2011年10月6日現在報告分)

感染性胃腸炎関連ウイルス 2010/11 & 2011/12シーズン

病原体個票による報告では、2011/12シーズンに入って最初の2011年第36週に、大阪府で幼稚園での集団発生病例からノロウイルスgenogroup(G)I 13件(すべてGI/4)が検出されている。その他に散発例から第36週に大阪府でGI 3件(GI/3、GI/14、GI/NT各1件)、GII/6 1件、第37週に山形県でGII/NT 1件、熊本県でサポウイルスGI 1件の検出が報告されている。

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2011/12シーズン
(病原微生物検出情報：2011年10月6日現在報告数)

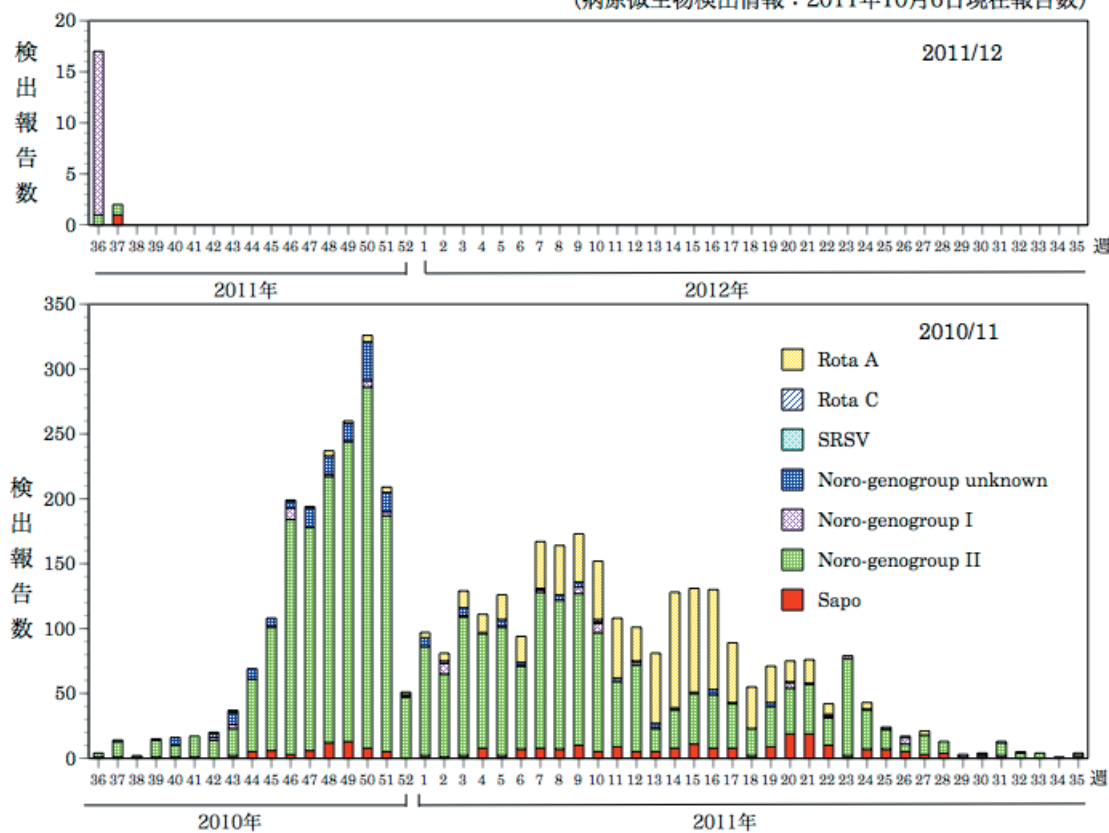


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



2010/11シーズンにはノロウイルスGI 75件(うち、GI/2 7件、GI/7、GI/8各4件、GI/3 2件、GI/1、GI/6、GI/9、GI/10、GI/11、GI/13各1件、GI/NT 52件)、ノロウイルスGII 3,081件(うち、GII/3 522件、GII/4 423件、GII/2 145件、GII/13 58件、GII/12 37件、GII/7 4件、GII/6 1件、NT 1,891件)、ノロウイルスG不明180件、サポウイルス266件(うち、GI 68件、GII 31件、GV 6件、GIV 1件、NT 160件)、A群ロタウイルス783件(うち、G3 165件、G1 100件、G2 21件、G9 14件、G4 2件、NT 481件)、C群ロタウイルス6件、アストロウイルス119件(うち、1型43件、4型5件、8型2件、NT 69件)が報告された。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2010/11&2011/12シーズン
(病原微生物検出情報：2011年10月6日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した





2011/12シーズンにおけるインフルエンザ集団発生初発事例 - 山口県

山口県においては、毎年度、「山口県インフルエンザ予防対策実施要領」に基づき、学校等の集団におけるインフルエンザの発生を早期に探知し、感染の急速な拡大や大規模かつ一斉の流行を回避・緩和することを目的としたインフルエンザ予防対策を実施している。

具体的には、学校等は、インフルエンザによる臨時休業(休校・休園、学年閉鎖、学級閉鎖)の措置を行った場合(集団発生事例)には、患者の発生状況について保健所等を通じて県健康増進課に報告する。県健康増進課は、とりまとめた内容を関係機関および報道機関に速やかに還元し、注意喚起を図る。また、各保健所管轄内の初発事例については、原則すべての事例について、校医もしくは近隣医療機関の協力により、1事例につき数名の患者から咽頭ぬぐい液を採取し、環境保健センターにてPCR検査によるウイルス遺伝子検出および型・亜型判定を行い、その結果を迅速に関係機関に還元する。

山口県におけるインフルエンザ発生状況は、2011年8月以降、感染症発生動向調査の定点報告数が0であり、病原体定点医療機関で採取された検体からも6月以降インフルエンザウイルスは全く検出されていなかった。このような状況の中、2011/12シーズンのインフルエンザ集団発生初発事例が、2011年9月に発生した。山口県内での9月のインフルエンザ集団発生事例は、インフルエンザA(H1N1)2009が発生した2009/10シーズンを除くと、感染症統計で調べる限り、最も早い発生であった。

2011年9月27日に県東部の幼稚園(在籍園児127名)の1学級(在籍園児31名)において、8名がインフルエンザ様疾患で欠席し、学級閉鎖の措置がとられた。管轄保健所が近隣医療機関に検体採取の依頼を行い、当該幼稚園在籍の2名の患者から咽頭ぬぐい液が採取され、9月28日にインフルエンザウイルスPCR検査のために環境保健センターに搬入された。

これらの検体について、Real-time RT-PCR法によるインフルエンザウイルス遺伝子検出を実施したところ、2名の検体から、ともにインフルエンザウイルスA型およびAH3亜型特異的遺伝子が検出された。このことから、当該幼稚園での集団発生事例は、インフルエンザウイルスAH3亜型(香港型)によるものと判断した。

なお、2名の咽頭ぬぐい液については、現在MDCK細胞によるウイルス分離を実施しており、分離され次第、HI試験による抗原解析を実施する予定である。

この集団発生事例の翌日に、同じ幼稚園の別学級(在籍園児32名)で7名がインフルエンザ様疾患で欠席し、学級閉鎖の措置がとられたが、山口県内では、その後の流行の広がりは見られていない。しかしながら、既に他県からもインフルエンザウイルスの検出¹⁾が報告され始めていることもあり、本格的なインフルエンザ流行シーズン前の、早めのワクチン接種等の感染予防対策を広く周知する必要がある。

参考文献

- 1) IASR インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/12シーズン
<http://idsc.nih.gov/iasr/influ.html>

山口県健康福祉部健康増進課

山口県環境保健センター

戸田昌一 岡本玲子 渡邊宜朗 濱岡修二 富田正章 調 恒明

(IASR 2011年11月号掲載予定記事)



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

インフルエンザ

2011年9月23日 - 更新143

【要約】

- ・北半球温帯地域諸国におけるインフルエンザの活動性は、低いか全く検出されていない状態が続いている。
- ・熱帯地域諸国ではアメリカ大陸(キューバ、ホンジュラス、ボリビア)、アフリカ西部(カメルーン)、アジア南部(インド、タイ、ベトナム、シンガポール)で多少の感染伝播の報告があるが、それらを除くとほとんどの国では活動性は低い。
- ・南アフリカ共和国での流行は低いレベルに低下した。オーストラリアでは、クイーンズランド州、ニューサウスウェールズ州と北部特別地域を除く他の州で、検査確定インフルエンザの届出数は減少していると報告されている。オセルタミビル耐性(ザナミビルには感受性)インフルエンザウイルスA(H1N1)2009 がニューサウスウェールズ州のニューカッスル地域で症例の集積として確認された。その症例の中で旅行歴の有るものは見られず、また死者もいなかった。ニュージーランドにおけるインフルエンザ様疾患(Influenza like illness: ILI)の活動性は、国のベースラインレベルの付近にあり、インフルエンザウイルスB型が主流だった。

【北半球温帯地域諸国】

北半球の温帯地域諸国はインフルエンザの流行間期である。ほとんどすべての国はインフルエンザの活動性が低レベルか全くないと報告している。

【熱帯地域諸国】

中央アメリカ及び南アメリカの熱帯地域では、全体的に低レベルのインフルエンザの流行が報告されている。中央アメリカとカリブ海諸国では、第24週以降RSウイルスが優勢なウイルスである。キューバでは第29週からインフルエンザウイルスA(H3N2)の低レベルの流行が報告されている。ホンジュラスでは最近A(H3N2)の流行を認め、8月中旬にピークがあった。A(H3N2)の流行とともに、それよりは少ないがA(H1N1)2009とB型とが見られていた。ボリビアでは、A(H1N1)2009とA(H3N2)の散発的な検出が報告された。以前に報告されていたコロンビア[A(H1N1)とわずかなA(H3N2)]とブラジル[A(H1N1)、A(H3N2)、B型がほぼ等しい]での流行はほとんど終息した。

サハラ以南のアフリカでは、西部で多少のインフルエンザの流行が続いている。特にB型が主に流行しているカメルーンではA(H1N1)2009の数が、過去数週間で少ないながらも増加していた。東アフリカでは、3月に流行のピークを迎えてから、B型、A(H3N2)、A(H1N1)2009の混合流行が持続している。B型、A(H3N2)、A(H1N1)2009の混合の流行が起きていたケニアでは、最近の週では、インフルエンザ陽性検体はより少なくなり、感染伝播は減少しつつある。

アジアの熱帯地域の多くの国ではインフルエンザの活動性は地域的に活発なところがある。インド、バングラデシュ、シンガポール、タイでは主にA(H3N2)の中等度の流行が報告されたが、インドでの流行は現在ピークを迎え、低いレベルまで戻った。B型とA(H1N1)2009も少数ながらそれらの国々から報告されている。対照的に、ベトナムでは2011年の初めから主にA(H1N1)2009の流行が報告され続けており、8月中旬に最も高いレベルまで到達した。ベトナムの定点サーベイランスシステムから報告された重症のウイルス性肺炎のうち27%がインフルエンザ陽性

で、それらの96%がA(H1N1)2009だった。ラオスでは流行レベルは低いものの、主な流行はA(H3N2)だった。カンボジアではA(H1N1)2009とB型の検体陽性数の僅かな増加が報告されている。シンガポールでは、ポリクリニック(Polyclinic)を受診した急性呼吸器疾患症例におけるILIの割合は低く、1%であった。2011年8月に集められたすべてのインフルエンザウイルスの検体の中でA(H3N2)は69%、B型は20%、A(H1N1)2009は6%であった。

【南半球温帯地域諸国】

・南アメリカ地域

南アメリカの温帯地域諸国では低レベルのインフルエンザの活動性が報告されている。そこでの流行期はすでにピークを迎え、現在減少しつつある。チリではA(H1N1)2009の検出は、過去4週間より大幅に少なく、ILIの活動性や救急外来(emergency departments)での呼吸器疾患による受診数もまた低いレベルを維持している。A(H1N1)2009による10例の死亡が第35週に報告されたが、そのうち9例で基礎疾患が認められた。アルゼンチンでの状況も同様で、ILIと重症急性呼吸器感染症(severe acute respiratory infection : SARI)の活動性、インフルエンザ陽性検体数は低く、減少傾向にある。そこでは、亜型別が行なわれたA型インフルエンザウイルスのうち、A(H1N1)2009とA(H3N2)がともに流行している。パラグアイではILIの受診者の割合は、わずかに前週(~ 9%)より高かった。そしてSARIによる入院及び集中治療室(ICU)入室、SARIで死亡した症例の割合は、5%より少なく、最近の週と同様か減っている。検査された検体ではインフルエンザウイルスは検出されなかった。ウルグアイではSARI(重症急性呼吸器感染症)による入院及びSARIで死亡した症例の割合は5%を下回り減少が続いている。SARIによる集中治療室(ICU)入室の割合もまた第31週にピークを迎えたあと減少している(5%)。

・アフリカ南部地域

南アフリカ共和国のインフルエンザ流行は6月初旬にピークを迎えた後、低いレベルを持続している。インフルエンザの流行期にはA(H1N1)2009が主流で、B型と少数のA(H3N2)が認められた。そして8月下旬にA(H3N2)とB型の第2のピークを経験した。

・オーストラリア、ニュージーランド及び南太平洋諸国

クイーンズランド州、ニューサウスウェールズ州、そして北部特別地域を除く多くの他の州で、週ごとの検査確定インフルエンザの届出数は減少が続いている。しかし、多くの州では、これらの届出はまだ2010年に見られたピークのレベルを上回っている。

ニューサウスウェールズ州から、以前に報告されたオセルタミビル耐性インフルエンザA(H1N1)2009の症例の集積に関連して、更に2例追加で報告された。これら新たな症例には最初の流行地への旅行歴はなかった。その集団からのウイルスは全てザナミビルに感受性があり、ワクチンで誘導された抗体による認識に影響を与えるような抗原性の変異はなかった。(この集団についてのより詳細な情報は2週間前のインフルエンザアップデートを参照のこと。)これは、この一群のウイルスがより広い地域に拡がったことを表しているが、オーストラリアでの流行も終わりに近づき、数は減少しているようである。

B型が優勢なタスマニア州とニューサウスウェールズ州、およびA(H1N1)2009、A(H3N2)と非常に少数のB型の混合流行を報告している西オーストラリア州を除いて、多くの州と地域からは優勢なA(H1N1)2009にB型を伴っていることが報告されている。2011年9月2日までに、全国疾患サーベイランスシステム(National Notifiable Diseases Surveillance System : NNDSS)は、

19,987例の検査確定症例を報告した。この流行期のピークは8月5日に終わる週で、1,952例だった。5月1日から9月1日の間で、ビクトリア州、南オーストラリア州、西オーストラリア州、そしてオーストラリアの首都圏地域で、118例のインフルエンザの入院症例(13例がICUへの入院)があった。入院の約56%、ICU入院の77%がA(H1N1)2009に関連していた。入院患者の平均年齢は46.6歳だった。

ニュージーランドではILI受診者の割合は10万人当たり50.7人で、ベースラインレベル上か、それを上回っていたが、この流行期にはハイレベルには到達しなかった。ニュージーランドでは検出される多くがB型である。南太平洋諸国では、サモア、フィジー、ソロモン諸島、マーシャル諸島、トンガ、そしてキリバスを除いて、多くの国々が低いインフルエンザの活動性を報告した。

【信頼できる文献より(Peer-reviewed literature)】

米国疾病対策センター(Centers for Disease Control and Prevention : CDC)はMMWR (Morbidity and Mortality Weekly Reports)の最近号においてブタインフルエンザウイルス感染症の集積について報告した。2例の新しいブタ由来インフルエンザウイルスA(H3N2)による熱性呼吸器感染症が米国の5歳未満の小児(男児と女児)において、それぞれ2011年8月19日と8月26日に確認された。これまでのところ、この2例に疫学的な関連は認められておらず、新たな確定患者も見つかっていないが、調査は継続中である。著者らはA型のインフルエンザウイルスは多くの動物種で地域的な流行を起こしており、散発的な動物からヒトへの感染は発生していることを指摘している。近年ブタ由来インフルエンザウイルスの報告が増加している。これは基本的にはヒト型およびブタ由来のインフルエンザウイルスへの認識が高まっていることによる検査機能の充実によるものと考えられるが、ブタインフルエンザウイルスの遺伝子の変化や他の因子も関わっていると思われる。今回報告されたブタインフルエンザウイルスの遺伝子の組み合わせは他に類をみず、過去ブタやヒトでは報告されたことが無く、当然のことながらこのウイルスのブタ、あるいはヒトへの感染効率、あるいはブタとヒトの間の感染効率については、現時点では利用できる情報はない。今回のウイルスはアマンタジンとリマンタジンには耐性であるが、ノイラミニダーゼ阻害剤であるオセルタミビルとザナミビルには感受性である。一例においては明らかなブタへの直接接触歴はないため、このウイルスが限定的なヒトからヒトへの感染を起こした可能性を示唆している。

コメント：この論文の発表後、さらに2例がペンシルベニア州で確認され、すべての患者(すべて9歳未満の小児)が回復している。4例中3例はブタとの直接接触歴があるが、複数の箇所での接触であり、このウイルスがブタの集団の中で循環しているらしいことを示唆している。このような少数例でこのウイルスの病原性や重症度を適切に評価することは難しいが、すべての症例が小児で発生していること、CDCで行われた血清学的研究においてこの新しいブタ由来のA(H3N2)ウイルスが2011-2012シーズンの北半球における季節性ワクチンとの交叉反応性を示すことは注目に値する。このウイルスがブタにおいてどのくらい広がっているのかはわからないため、米国および世界における地域の動物におけるインフルエンザウイルスのモニタリングを改善する必要性を提起している。

参考文献：Nalluswami, K., et al. Swine-Origin Influenza A(H3N2) Virus Infection in Two Children-Indiana and Pennsylvania, July-August 2011. Morbidity and Mortality Weekly Report. September 9, 2011 ; 60(35).

【ウイルス学的な状況】

第35～36週(2011年8月28日～9月10日)において、検査室で検出されたインフルエンザウイルス数は世界のほとんどの地域で少数に留まっている。しかしながら、南半球ではオーストラリアとニュージーランドで地域的なアウトブレイクが続いている。

優勢なウイルスの型および亜型はいろいろな国で異なっている。

オーストラリアではA(H1N1)2009、A(H3N2)とB型が混合しているが、ニュージーランドではA(H3N2)とB型が優勢である。アフリカではカメルーンでA(H1N1)2009とB型が優勢で、他の国では散発的なA(H1N1)2009、A(H3N2)とB型が報告されている。南米では、インフルエンザウイルスは低レベルで循環しているが、例外としてキューバとペルーにおいて局地的なA(H3N2)の活動性が報告されている。

北半球では全般的にインフルエンザの活動性は低いが、カンボジアではA(H1N1)2009とB型の地域的なアウトブレイクの持続が報告されている。

ここ最近、WHOのグローバルインフルエンザサーベイランス・レスポンスシステム(WHO Global Influenza Surveillance and Response System : GISRS)で解析された最近のウイルスの大部分は、依然として、WHOが推奨した北半球における2010-2011シーズン、南半球における2011シーズンのワクチン株と抗原的に類似している。GISRSによって収集されたデータと他の利用可能な情報を評価して、南半球における2012シーズンのワクチン株を推奨するために、2011年9月26～29日にWHO諮問委員会が開催されている。

第35～36週(2011年8月28日～9月10日)において、69の国と地域の国家インフルエンザセンター(National Influenza Centres : NICs)がFluNetに報告したインフルエンザウイルス陽性検体1,023のうち745(72.8%)がA型、278(27.2%)がB型で、亜型別されたA型のうち、43.3%がA(H1N1)2009、56.7%がA(H3N2)であった。(2011年9月20日現在FluNetデータ)



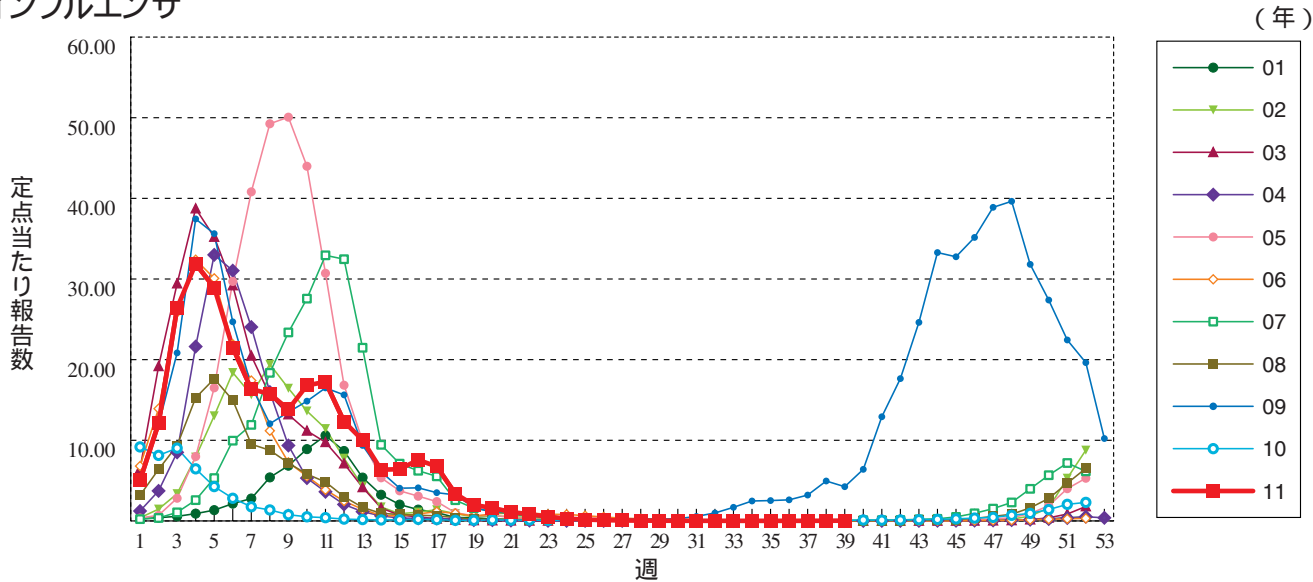
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

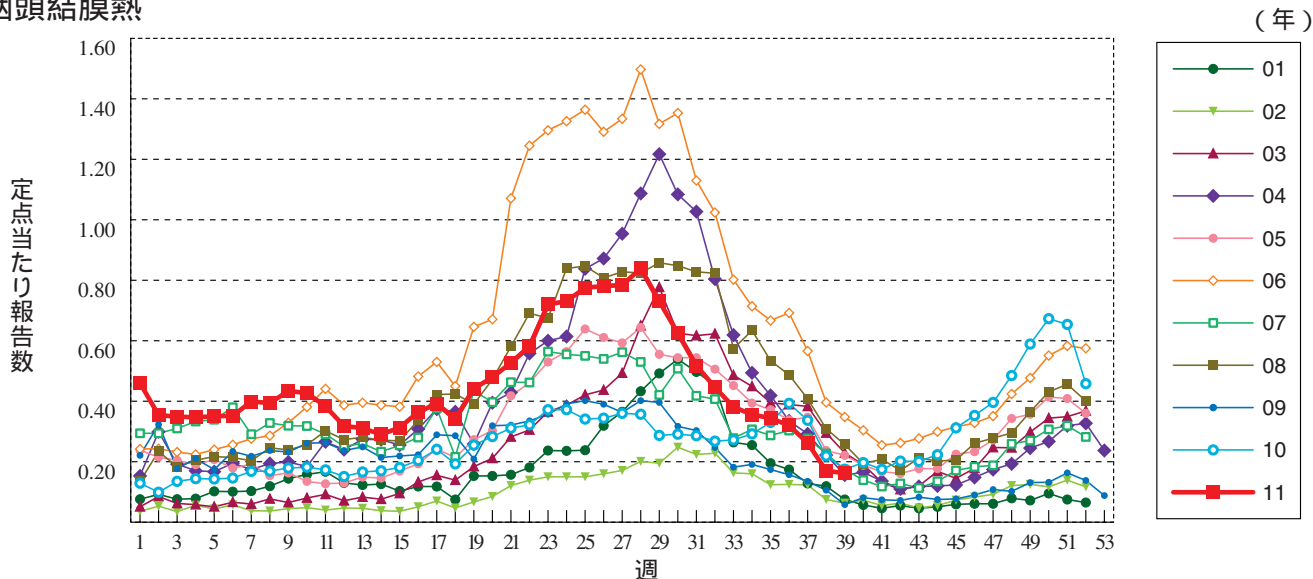


グラフ総覧(39週)

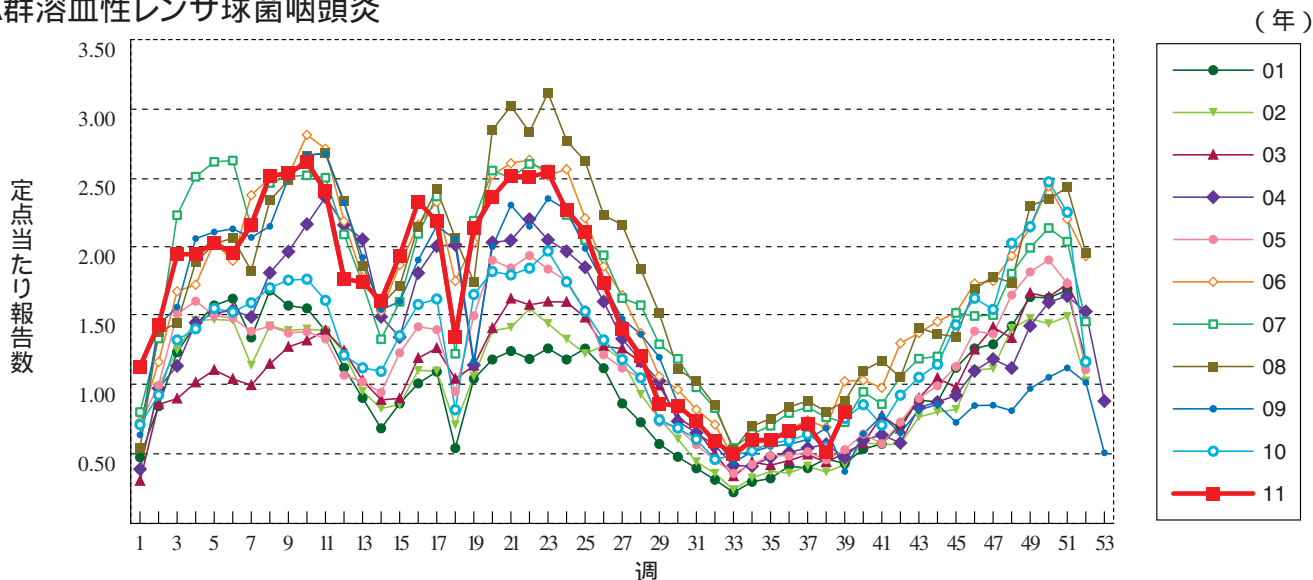
インフルエンザ



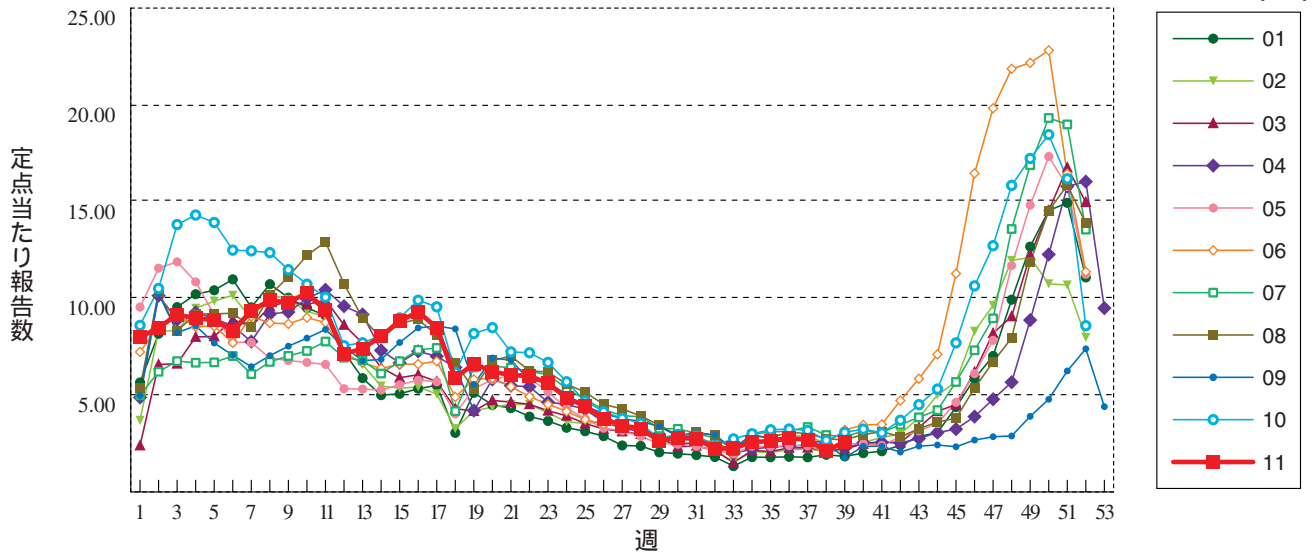
咽頭結膜熱



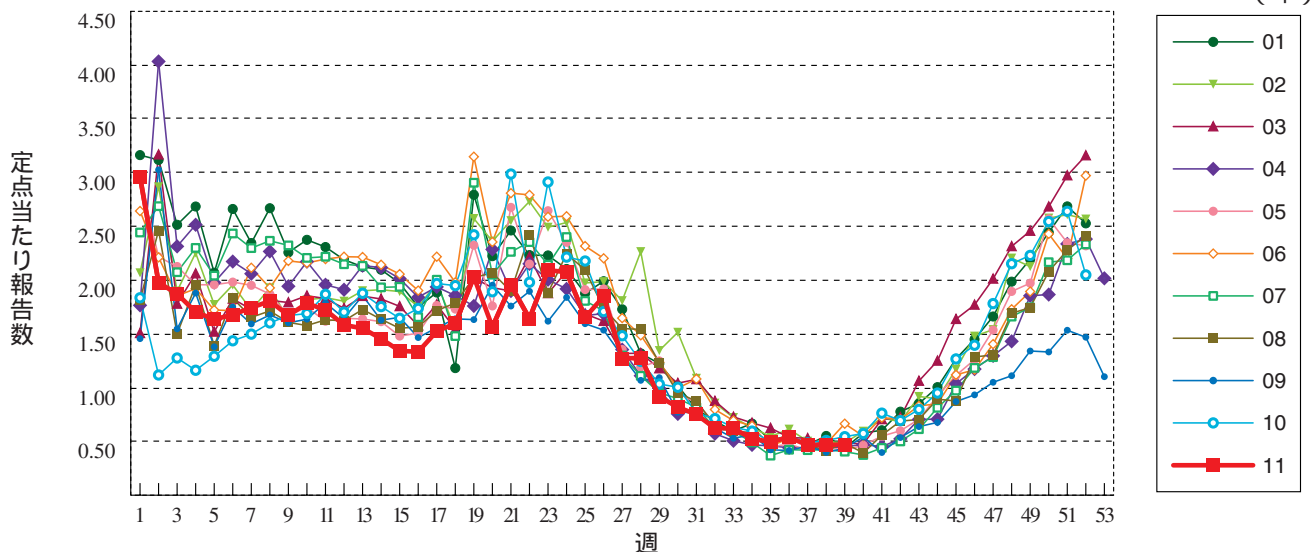
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



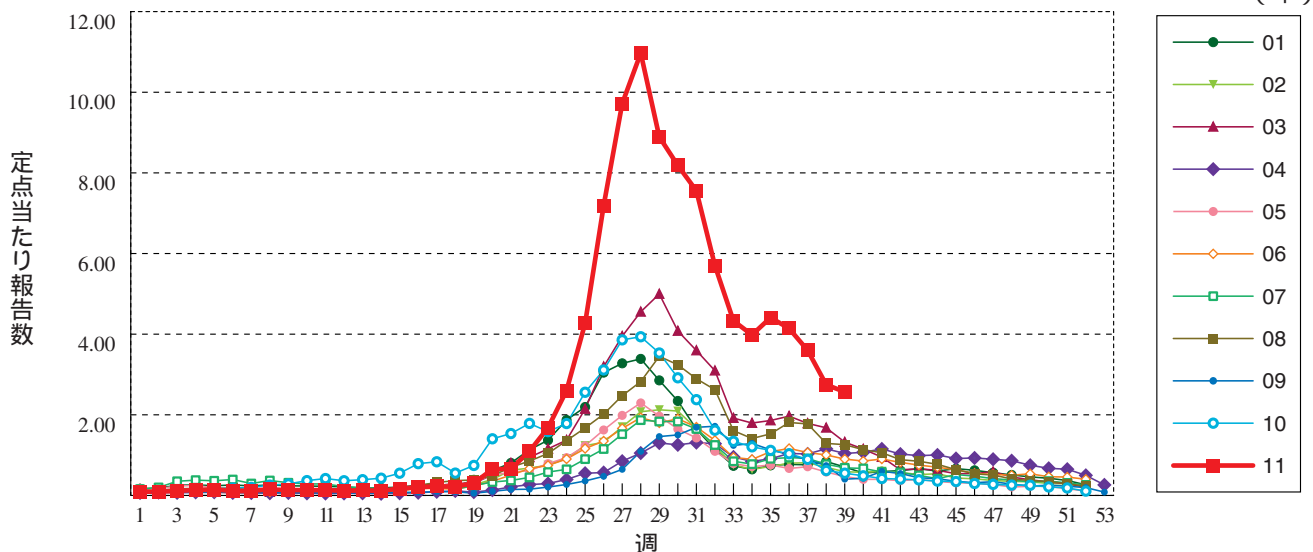
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



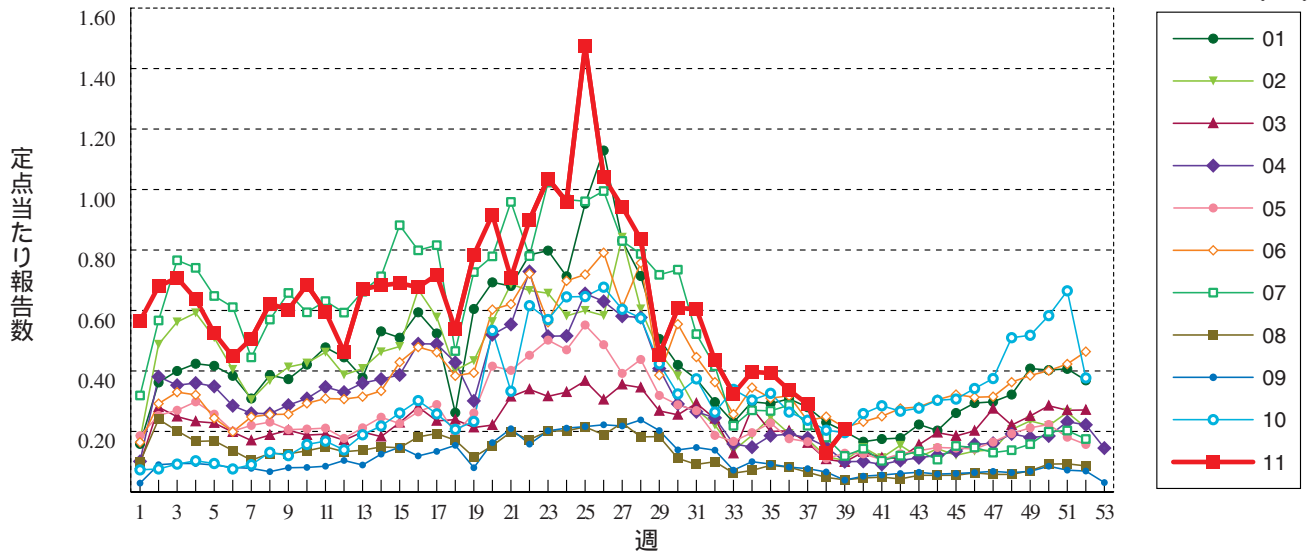
水痘



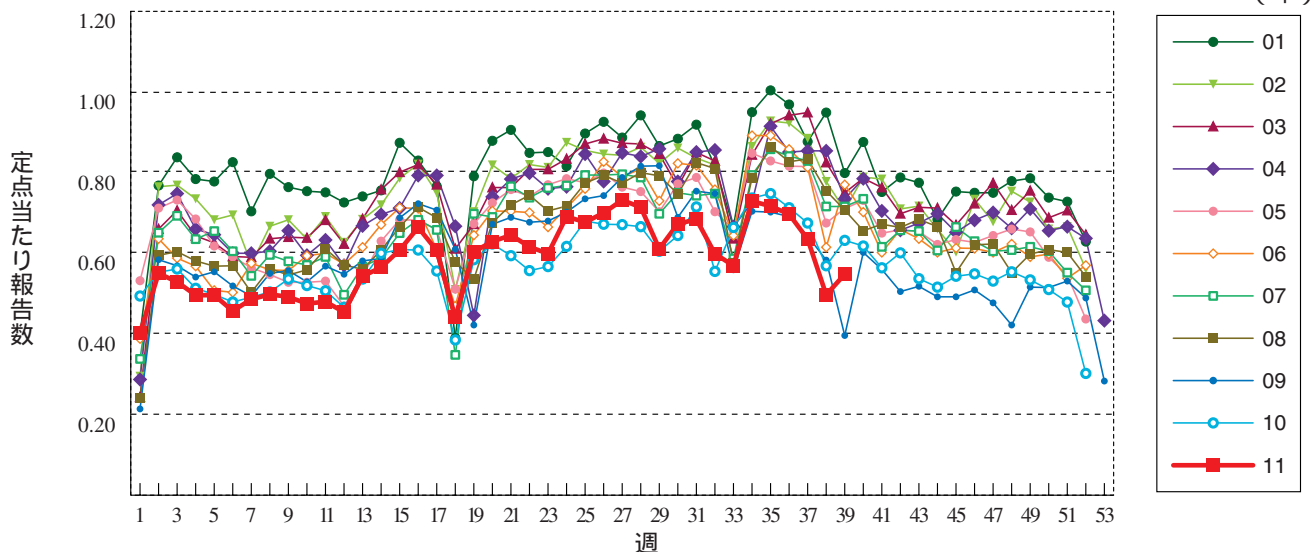
手足口病



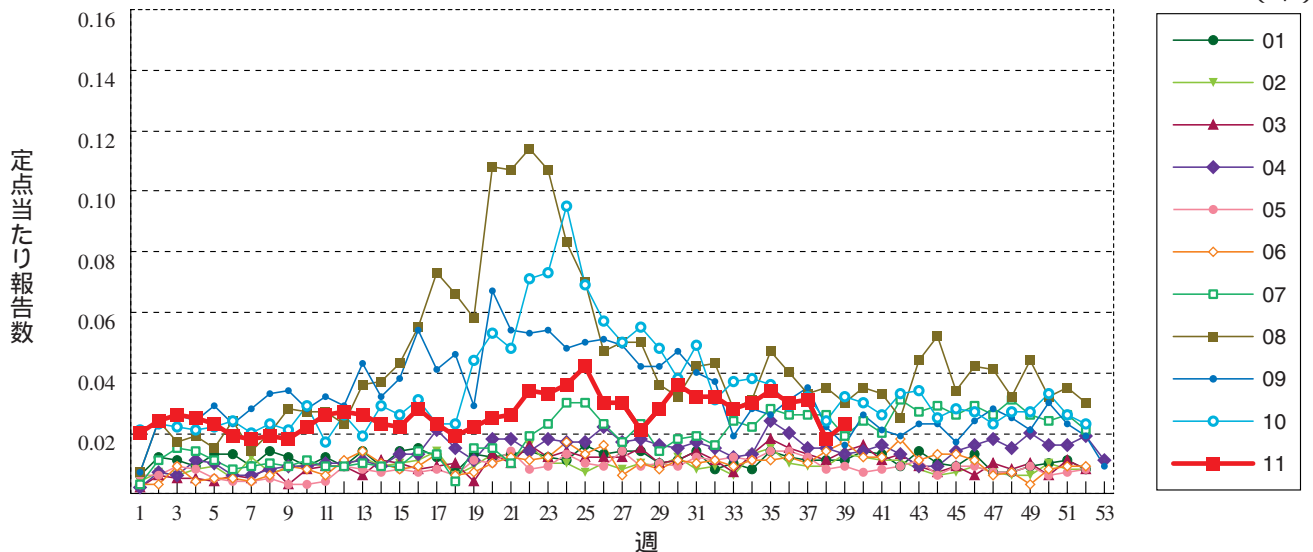
伝染性紅斑



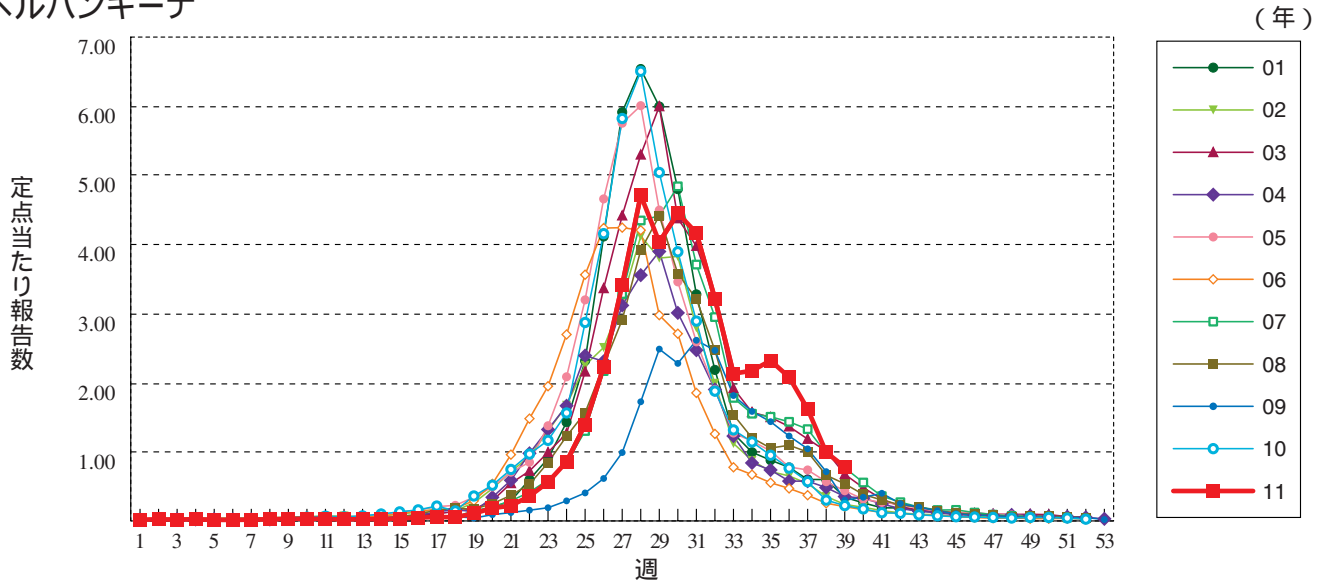
突発性発しん



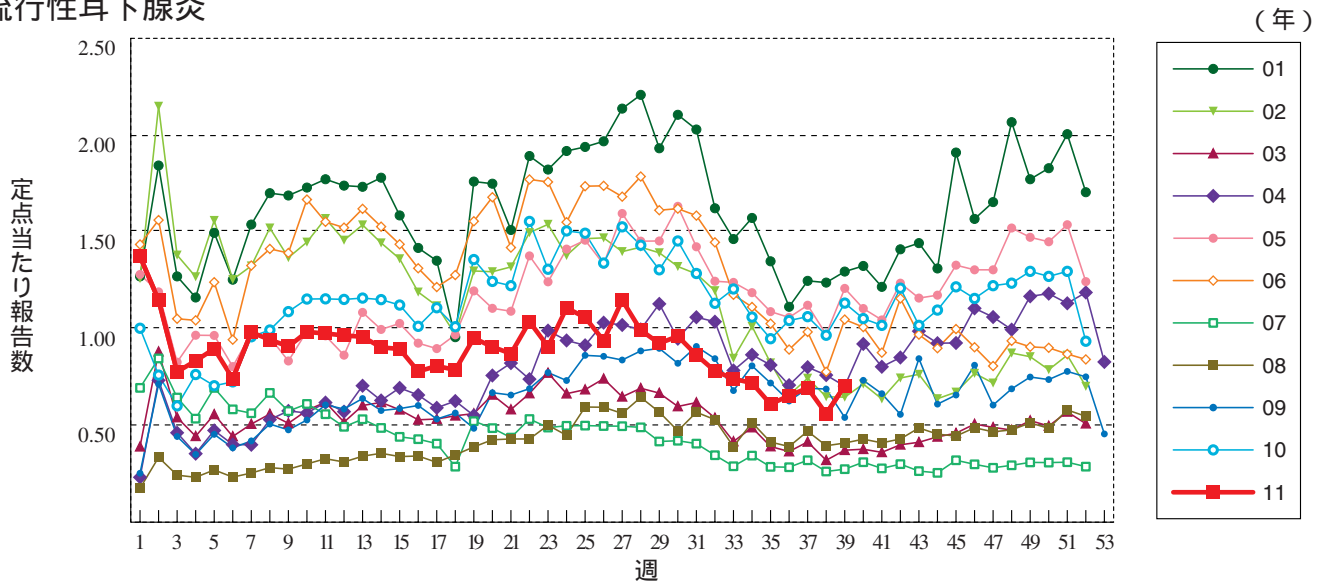
百日咳



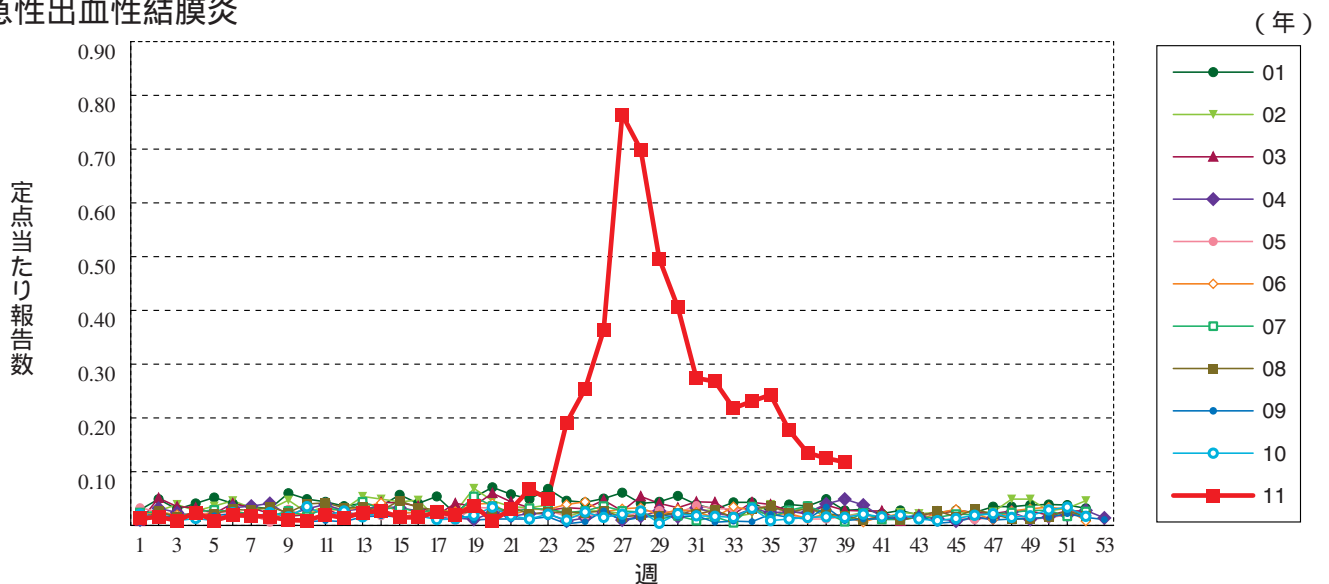
ヘルパンギーナ



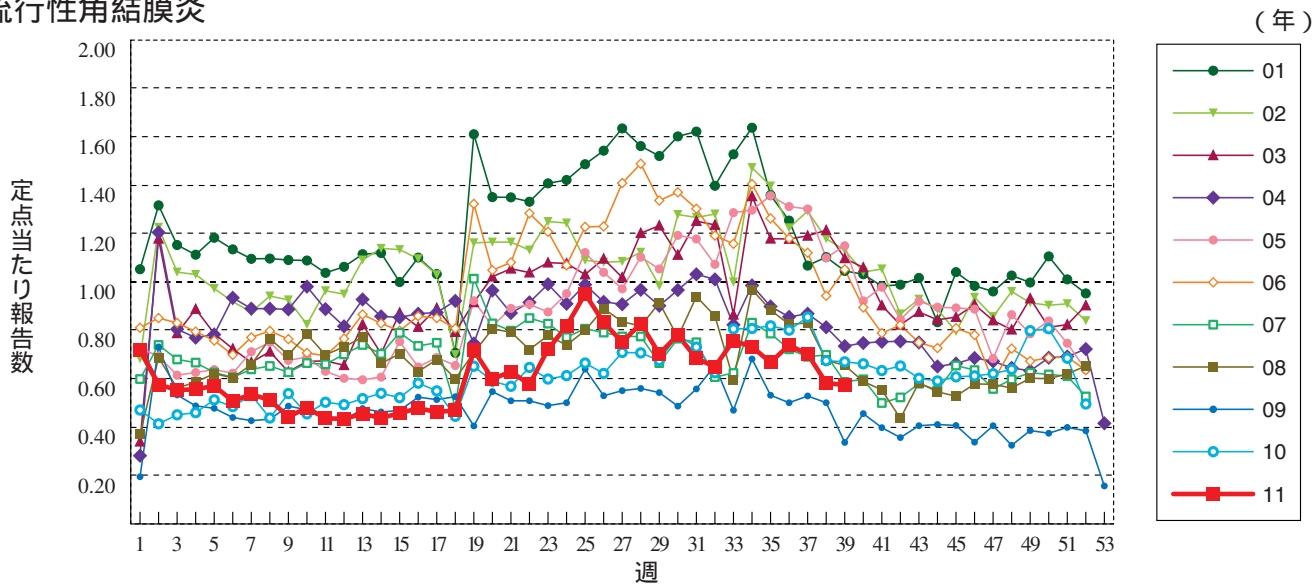
流行性耳下腺炎



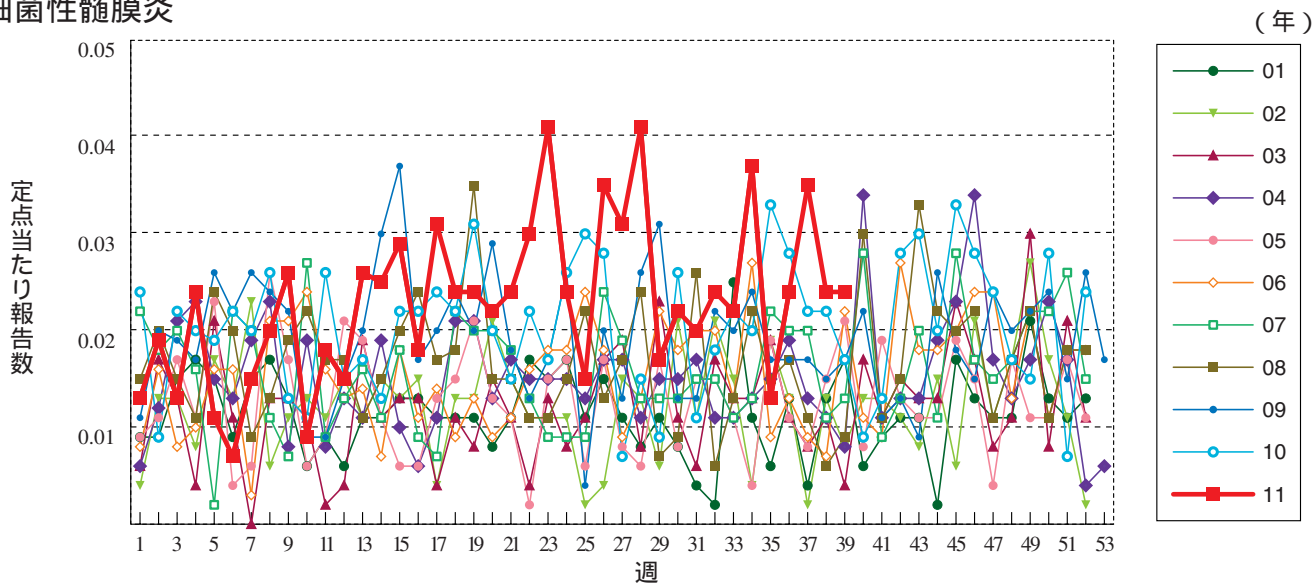
急性出血性結膜炎



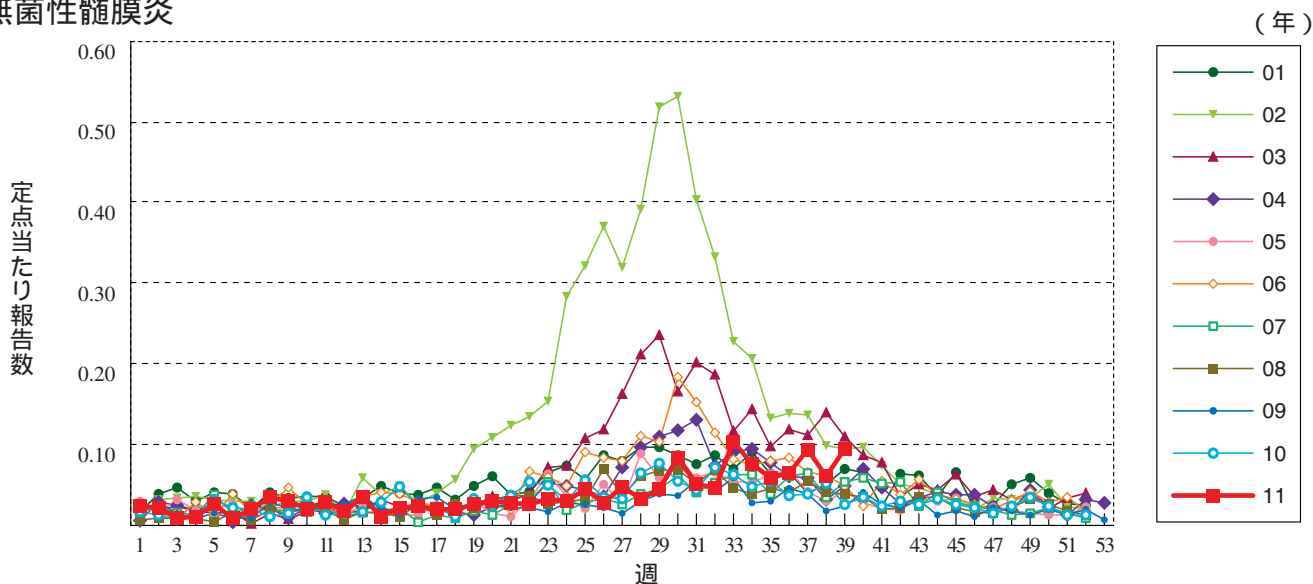
流行性角結膜炎



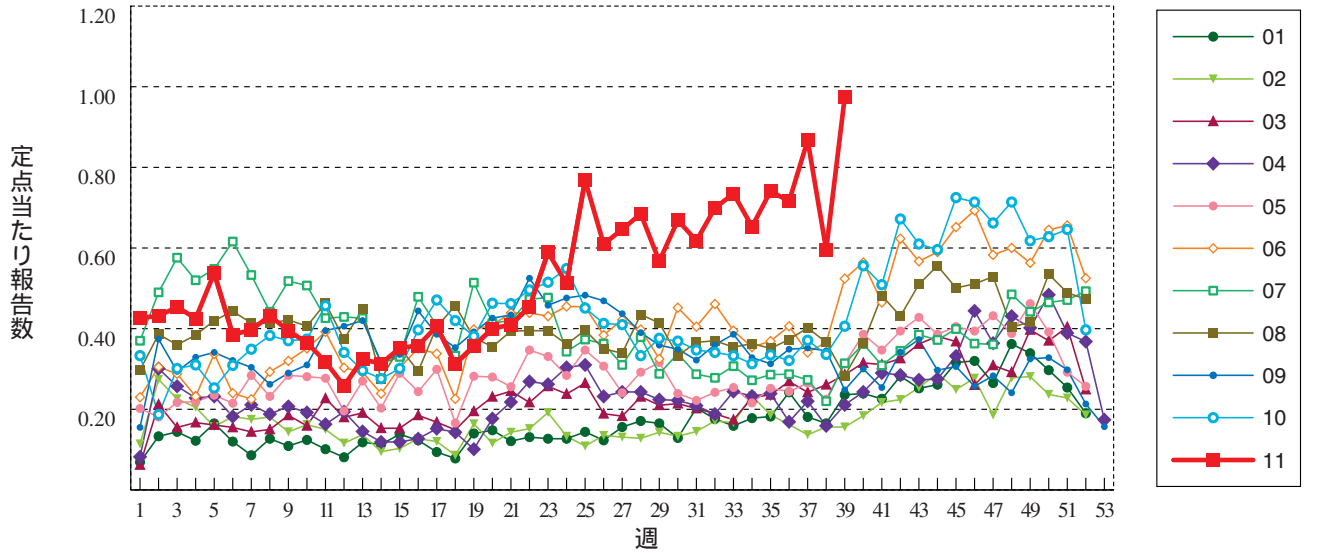
細菌性髄膜炎



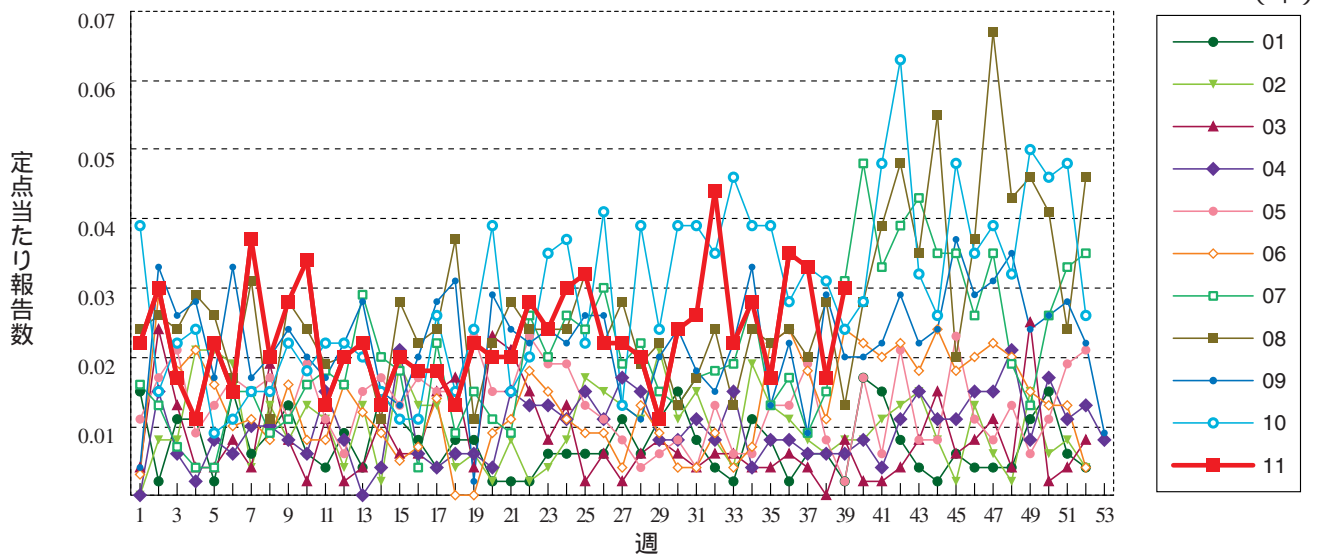
無菌性髄膜炎



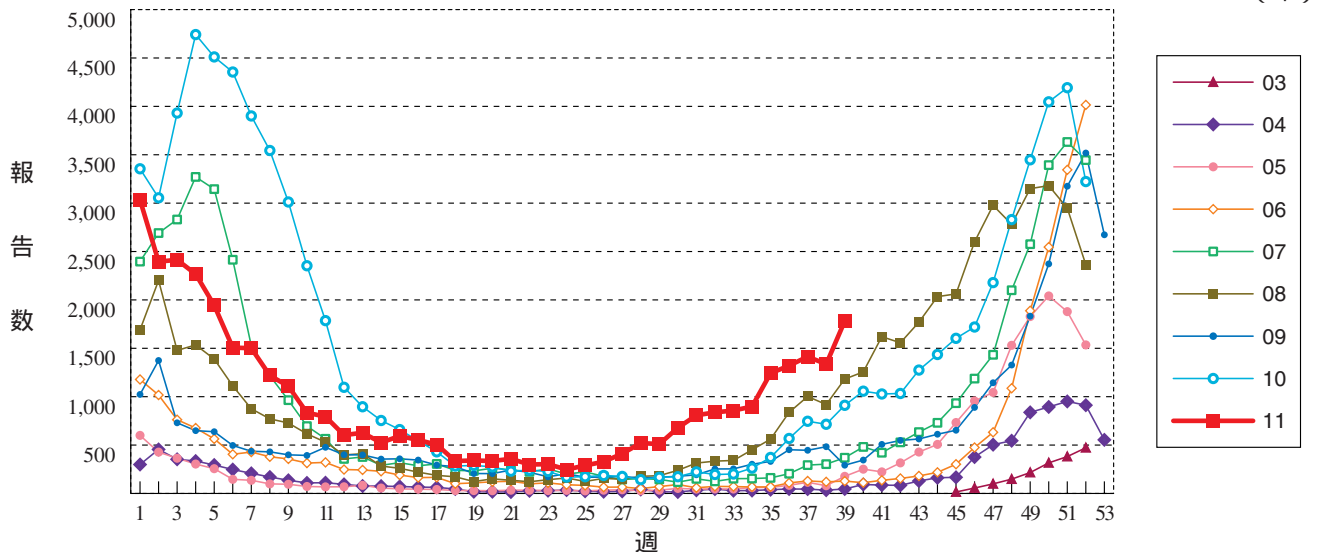
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





39週のデータ

注) 表中の報告数は10月5日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年39週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ スト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	392	22663
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	738
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	317
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	266
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	184
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	228
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	229
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	555
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	268
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	159
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	1139
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	1104
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	80	3609	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	1613
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	286
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	173
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	206
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	134
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	295
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	425
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	528
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	1534
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	257
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	238
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	516
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1042
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	844
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	233
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	355
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	175
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	366
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	631
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	250
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	185
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	142
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	223
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	140
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	918
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	281
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	288
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	285
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	220
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	206
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	291
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	256

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年39週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	8	7	226	61	3212	2	18	-	20	1	48	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	97	-	-	-	-	-	10	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	22	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	119	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1	102	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	20	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	12	5	298	-	-	-	-	-	1	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	23	4	43	-	-	-	-	1	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	38	1	1	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	63	-	2	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	103	-	1	-	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	2	148	-	-	-	2	3	
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	52	10	224	1	5	-	9	1	8	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	3	1	21	2	102	-	-	-	2	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	55	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	182	-	-	-	1	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	48	-	1	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	26	-	-	-	-	-	1	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	69	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	64	-	-	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	3	61	-	-	-	-	-	2	
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	1	11	3	97	-	1	-	2	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	32	-	-	-	2	-	3	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	65	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	71	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	12	-	164	-	2	-	1	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	96	-	-	-	-	-	2	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	22	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	1	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	-	-	-	-	-	1	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	63	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	1	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	1	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	16	5	123	-	2	-	-	-	3	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	66	-	2	-	-	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	48	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	40	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	52	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	71	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	41	-	-	-	1	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年39週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	154	-	13	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	23	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年39週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	3	170
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年39週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	6	78	-	-	-	-	-	-	5	111	1	5	-	-	-	-	-	-
北海道	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	17	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	9	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	1	1	-	-	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年39週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	57	-	-	-	6	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	3	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年39週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	15	575	1	16	-	-	13	611	5	190	1	200	-	7
北海道	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	10	-	3	-	5	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	6	-	5	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	10	-	2	-	6	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	5	-	1	-	9	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	1	9	-	2	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	28	-	-	-	-	2	32	-	7	-	13	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	1	43	-	5	-	16	-	-
東京都	-	-	-	-	1	53	-	3	-	-	3	129	1	30	-	13	-	2
神奈川県	-	-	-	1	1	47	-	-	-	-	2	53	-	10	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	22	-	-	-	-	-	8	-	2	-	12	-	-
富山県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	5	-	4	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	10	-	3	-	6	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	8	-	2	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	17	-	-	1	13	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	-	29	-	7	-	11	-	-
三重県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	9	-	7	-	5	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	16	-	8	-	11	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	2	62	2	17	-	15	-	1
兵庫県	-	-	-	-	1	38	-	-	-	-	-	24	1	13	-	9	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	10	-	7	-	3	-	-
広島県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	9	-	12	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	4	-	3	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	5	-	6	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	20	-	10	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	9	1	3	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	5	1	3	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年39週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	95	-	159	15	1075	-	50	-	7	-	1	12	561	1	89	-	-
北海道	-	6	-	5	-	20	-	-	-	-	-	-	-	17	-	5	-	-
青森県	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	1	1	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-	-	7	-	6	-	-
秋田県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
福島県	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	4	-	3	-	18	-	2	-	-	-	-	-	18	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	1	12	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
埼玉県	-	5	-	5	-	29	-	3	-	-	-	-	1	12	-	2	-	-
千葉県	-	5	-	6	-	40	-	1	-	1	-	-	-	15	-	1	-	-
東京都	-	13	-	27	6	292	-	9	-	2	-	-	5	168	-	6	-	-
神奈川県	-	1	-	8	-	63	-	6	-	-	-	-	-	29	-	1	-	-
新潟県	-	4	-	7	-	8	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
富山県	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
石川県	-	1	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-
福井県	-	-	-	2	-	5	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	5	1	13	-	1	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	2	-	18	-	2	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-
静岡県	-	2	-	5	1	21	-	3	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
愛知県	-	2	-	10	2	72	-	3	-	-	-	-	-	33	-	4	-	-
三重県	-	2	-	2	-	11	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
滋賀県	-	1	-	2	-	4	-	1	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-
京都府	-	4	-	3	-	11	-	2	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
大阪府	-	7	-	10	-	174	-	2	-	-	-	-	-	52	-	1	-	-
兵庫県	-	2	-	3	1	36	-	4	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	3	-	8	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	1	-	1	-	12	-	2	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-
広島県	-	2	-	3	-	21	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-
山口県	-	1	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
香川県	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
福岡県	-	7	-	19	2	39	-	-	-	1	-	-	1	29	-	2	-	-
佐賀県	-	2	-	1	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	7	-	4	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
大分県	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	10	-	-	-	2	-	-	-	7	-	8	-	-
鹿児島県	1	3	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	1	15	-	4	-	-
沖縄県	-	1	-	3	-	13	-	1	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2011年39週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	44	3	323	-	400
北海道	-	1	-	18	-	8
青森県	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	1	-	2
宮城県	-	1	-	1	-	1
秋田県	-	1	-	1	-	1
山形県	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	9	-	-
栃木県	-	1	-	1	-	9
群馬県	-	1	-	-	-	5
埼玉県	-	1	-	6	-	28
千葉県	-	5	-	7	-	25
東京都	-	1	1	27	-	164
神奈川県	1	9	1	61	-	36
新潟県	-	-	-	5	-	1
富山県	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	2	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	1	-	1	-	1
岐阜県	-	1	-	2	-	2
静岡県	-	-	-	4	-	8
愛知県	-	-	-	11	-	29
三重県	-	1	-	5	-	1
滋賀県	-	-	-	2	-	2
京都府	-	1	-	1	-	3
大阪府	-	7	-	46	-	10
兵庫県	-	2	-	7	-	12
奈良県	-	-	-	1	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	4
広島県	-	1	-	13	-	24
山口県	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	1	-	1
愛媛県	-	1	-	1	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	1	66	-	6
佐賀県	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	3
熊本県	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	2	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	1	-	2	-	2
沖縄県	-	2	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年39週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	185	0.04	508	0.16	2516	0.80	8149	2.61	1463	0.47	8030	2.57	649	0.21	1713	0.55	71	0.02
北海道	-	-	36	0.25	174	1.22	147	1.03	70	0.49	399	2.79	35	0.24	66	0.46	1	0.01
青森県	-	-	-	-	14	0.33	33	0.79	29	0.69	198	4.71	3	0.07	21	0.50	-	-
岩手県	-	-	15	0.38	33	0.83	67	1.68	22	0.55	204	5.10	14	0.35	28	0.70	-	-
宮城県	4	0.04	-	-	48	0.81	150	2.54	19	0.32	581	9.85	9	0.15	29	0.49	-	-
秋田県	-	-	3	0.09	14	0.40	72	2.06	14	0.40	183	5.23	-	-	11	0.31	-	-
山形県	-	-	6	0.21	30	1.07	86	3.07	13	0.46	94	3.36	5	0.18	16	0.57	-	-
福島県	1	0.01	2	0.04	27	0.56	41	0.85	18	0.38	223	4.65	16	0.33	19	0.40	-	-
茨城県	1	0.01	16	0.21	35	0.47	147	1.96	26	0.35	95	1.27	4	0.05	20	0.27	-	-
栃木県	1	0.01	1	0.02	24	0.50	59	1.23	7	0.15	92	1.92	5	0.10	29	0.60	1	0.02
群馬県	-	-	18	0.30	43	0.70	142	2.33	35	0.57	144	2.36	10	0.16	23	0.38	6	0.10
埼玉県	4	0.02	16	0.10	146	0.93	540	3.44	53	0.34	453	2.89	15	0.10	91	0.58	1	0.01
千葉県	3	0.01	15	0.11	160	1.22	295	2.25	57	0.44	413	3.15	13	0.10	71	0.54	13	0.10
東京都	6	0.01	32	0.12	243	0.95	862	3.35	111	0.43	676	2.63	44	0.17	163	0.63	1	0.00
神奈川県	1	0.00	19	0.10	113	0.57	432	2.19	56	0.28	627	3.18	33	0.17	124	0.63	7	0.04
新潟県	-	-	20	0.33	64	1.07	104	1.73	35	0.58	92	1.53	3	0.05	41	0.68	2	0.03
富山県	3	0.06	7	0.24	30	1.03	108	3.72	14	0.48	105	3.62	-	-	22	0.76	-	-
石川県	-	-	-	-	40	1.38	62	2.14	14	0.48	56	1.93	6	0.21	18	0.62	-	-
福井県	-	-	1	0.05	46	2.09	104	4.73	21	0.95	21	0.95	9	0.41	10	0.45	-	-
山梨県	-	-	10	0.42	13	0.54	37	1.54	8	0.33	37	1.54	10	0.42	9	0.38	-	-
長野県	-	-	9	0.17	58	1.07	123	2.28	20	0.37	104	1.93	15	0.28	16	0.30	3	0.06
岐阜県	6	0.07	9	0.17	13	0.25	116	2.19	17	0.32	107	2.02	10	0.19	18	0.34	-	-
静岡県	2	0.02	10	0.12	89	1.07	271	3.27	41	0.49	266	3.20	14	0.17	41	0.49	-	-
愛知県	25	0.13	13	0.07	81	0.45	459	2.54	94	0.52	751	4.15	56	0.31	76	0.42	5	0.03
三重県	4	0.06	10	0.22	14	0.31	147	3.27	26	0.58	102	2.27	6	0.13	24	0.53	-	-
滋賀県	1	0.02	1	0.03	27	0.84	75	2.34	14	0.44	90	2.81	1	0.03	16	0.50	3	0.09
京都府	4	0.03	4	0.05	37	0.51	168	2.30	18	0.25	93	1.27	16	0.22	20	0.27	2	0.03
大阪府	7	0.02	24	0.12	196	1.00	487	2.48	96	0.49	206	1.05	53	0.27	103	0.53	5	0.03
兵庫県	1	0.01	6	0.05	73	0.57	363	2.81	54	0.42	157	1.22	22	0.17	76	0.59	2	0.02
奈良県	-	-	17	0.49	8	0.23	36	1.03	13	0.37	56	1.60	9	0.26	11	0.31	-	-
和歌山県	-	-	6	0.19	5	0.16	34	1.10	15	0.48	39	1.26	6	0.19	18	0.58	1	0.03
鳥取県	2	0.07	1	0.05	16	0.84	43	2.26	15	0.79	47	2.47	5	0.26	11	0.58	-	-
島根県	-	-	4	0.17	13	0.57	70	3.04	15	0.65	94	4.09	15	0.65	13	0.57	-	-
岡山県	-	-	4	0.07	27	0.50	240	4.44	12	0.22	70	1.30	11	0.20	35	0.65	-	-
広島県	1	0.01	16	0.23	51	0.72	187	2.63	36	0.51	207	2.92	17	0.24	27	0.38	7	0.10
山口県	46	0.67	13	0.27	63	1.31	195	4.06	18	0.38	127	2.65	16	0.33	26	0.54	-	-
徳島県	-	-	2	0.09	12	0.52	63	2.74	13	0.57	22	0.96	13	0.57	12	0.52	-	-
香川県	-	-	5	0.17	8	0.27	101	3.37	8	0.27	36	1.20	10	0.33	13	0.43	-	-
愛媛県	10	0.16	20	0.54	16	0.43	108	2.92	28	0.76	156	4.22	17	0.46	26	0.70	1	0.03
高知県	-	-	7	0.23	15	0.50	42	1.40	15	0.50	99	3.30	16	0.53	12	0.40	1	0.03
福岡県	2	0.01	64	0.53	136	1.13	399	3.33	85	0.71	40	0.33	9	0.08	122	1.02	8	0.07
佐賀県	-	-	6	0.26	22	0.96	20	0.87	15	0.65	6	0.26	4	0.17	14	0.61	-	-
長崎県	-	-	6	0.14	39	0.89	94	2.14	27	0.61	49	1.11	3	0.07	21	0.48	-	-
熊本県	-	-	5	0.10	27	0.56	193	4.02	28	0.58	91	1.90	8	0.17	48	1.00	-	-
大分県	2	0.03	7	0.19	49	1.36	185	5.14	31	0.86	49	1.36	15	0.42	24	0.67	-	-
宮崎県	-	-	13	0.36	46	1.28	164	4.56	27	0.75	80	2.22	18	0.50	35	0.97	1	0.03
鹿児島県	-	-	9	0.16	61	1.11	204	3.71	39	0.71	180	3.27	15	0.27	29	0.53	-	-
沖縄県	48	0.83	-	-	17	0.50	74	2.18	21	0.62	13	0.38	15	0.44	15	0.44	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年39週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2446	0.78	2206	0.71	80	0.12	390	0.57	11	0.02	44	0.10	450	0.97	14	0.03	1781	
北海道	188	1.31	51	0.36	-	-	11	0.38	2	0.09	-	-	17	0.74	-	-	50	
青森県	57	1.36	61	1.45	-	-	2	0.18	-	-	2	0.33	14	2.33	1	0.17	10	
岩手県	24	0.60	28	0.70	-	-	3	0.21	-	-	2	0.11	28	1.47	-	-	18	
宮城県	50	0.85	53	0.90	-	-	1	0.08	1	0.08	-	-	26	2.17	1	0.08	32	
秋田県	44	1.26	8	0.23	2	0.29	1	0.14	-	-	-	-	6	0.75	-	-	6	
山形県	126	4.50	22	0.79	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.40	-	-	8	
福島県	78	1.63	15	0.31	-	-	17	1.42	-	-	2	0.29	10	1.43	-	-	29	
茨城県	33	0.44	72	0.96	-	-	12	0.71	-	-	3	0.23	6	0.46	-	-	8	
栃木県	9	0.19	29	0.60	-	-	5	0.42	1	0.14	1	0.14	13	1.86	1	0.14	33	
群馬県	74	1.21	43	0.70	-	-	24	1.60	2	0.25	1	0.13	2	0.25	-	-	19	
埼玉県	150	0.96	60	0.38	3	0.07	35	0.85	-	-	3	0.33	29	3.22	-	-	57	
千葉県	93	0.71	40	0.31	1	0.03	17	0.50	-	-	2	0.22	4	0.44	-	-	41	
東京都	274	1.07	78	0.30	-	-	17	0.46	1	0.04	7	0.28	32	1.28	1	0.04	173	
神奈川県	171	0.87	67	0.34	-	-	32	0.73	1	0.11	3	0.33	7	0.78	-	-	61	
新潟県	77	1.28	130	2.17	-	-	4	0.44	-	-	2	0.17	4	0.33	5	0.42	55	
富山県	41	1.41	20	0.69	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1.40	-	-	33	
石川県	4	0.14	12	0.41	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.60	-	-	27	
福井県	24	1.09	2	0.09	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.17	-	-	33	
山梨県	18	0.75	22	0.92	-	-	2	0.22	-	-	1	0.10	3	0.30	1	0.10	-	
長野県	64	1.19	91	1.69	-	-	10	0.91	-	-	1	0.09	11	1.00	-	-	3	
岐阜県	9	0.17	10	0.19	-	-	4	0.36	-	-	-	-	6	1.20	-	-	23	
静岡県	112	1.35	55	0.66	-	-	11	0.55	1	0.11	1	0.11	5	0.56	-	-	48	
愛知県	101	0.56	62	0.34	-	-	12	0.35	-	-	1	0.08	34	2.62	-	-	87	
三重県	24	0.53	38	0.84	-	-	1	0.08	-	-	1	0.11	3	0.33	1	0.11	35	
滋賀県	13	0.41	23	0.72	-	-	1	0.13	-	-	1	0.14	3	0.43	-	-	38	
京都府	15	0.21	44	0.60	-	-	7	0.39	-	-	1	0.14	5	0.71	-	-	24	
大阪府	61	0.31	116	0.59	-	-	20	0.39	-	-	-	-	40	2.67	-	-	168	
兵庫県	35	0.27	88	0.68	-	-	14	0.40	-	-	-	-	3	0.27	-	-	48	
奈良県	5	0.14	4	0.11	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.33	-	-	24	
和歌山県	7	0.23	19	0.61	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.64	1	0.09	29	
鳥取県	3	0.16	34	1.79	-	-	3	1.00	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-	5	
島根県	17	0.74	14	0.61	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.50	-	-	11	
岡山県	20	0.37	59	1.09	-	-	7	0.58	-	-	-	-	4	0.80	1	0.20	18	
広島県	29	0.41	45	0.63	-	-	25	1.32	1	0.05	1	0.05	11	0.52	-	-	45	
山口県	31	0.65	51	1.06	-	-	3	0.33	-	-	-	-	13	1.44	-	-	59	
徳島県	7	0.30	20	0.87	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.20	-	-	19	
香川県	29	0.97	33	1.10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	67	
愛媛県	73	1.97	86	2.32	-	-	8	1.00	-	-	-	-	7	1.17	-	-	31	
高知県	12	0.40	8	0.27	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.57	-	-	8	
福岡県	64	0.53	130	1.08	-	-	14	0.54	1	0.07	-	-	6	0.40	-	-	62	
佐賀県	8	0.35	44	1.91	-	-	1	0.25	-	-	-	-	11	1.83	-	-	24	
長崎県	37	0.84	22	0.50	-	-	8	1.00	-	-	1	0.09	15	1.36	-	-	20	
熊本県	43	0.90	78	1.63	-	-	8	0.89	-	-	2	0.13	3	0.20	-	-	25	
大分県	44	1.22	29	0.81	-	-	3	0.60	-	-	-	-	7	0.64	-	-	19	
宮崎県	35	0.97	81	2.25	-	-	10	1.67	-	-	-	-	2	0.29	1	0.14	105	
鹿児島県	10	0.18	96	1.75	-	-	4	0.57	-	-	-	-	7	0.58	-	-	32	
沖縄県	3	0.09	13	0.38	74	7.40	26	2.60	-	-	4	0.57	18	2.57	-	-	11	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年39週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71	1	16	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年39週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第39号 2011年10月17日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。